

臨時レポート

豪総選挙での与党勝利を受けてモリソン政権は続投へ

- 5月18日の豪総選挙では、事前の世論調査に反して与党・保守連合が勝利し、モリソン政権の続投が決定的となる。
- 下院議会では保守連合の獲得議席は77議席に達するとみられ、モリソン政権が単独過半数を握る可能性も高まる。
- 上院では保守連合の議席は過半数に届かない見込み。上院での法案審議では小規模政党との協力が必要に。
- 労働党の敗北で左派寄りの政策リスクが後退。モリソン政権は財政黒字化と同時に、減税やインフラ投資を推進へ。

総選挙での勝利を受け、保守連合は政権を維持

5月18日実施の豪州の総選挙では、世論調査での野党・労働党の優勢観測に反して、与党・保守連合の予想外の勝利となり、モリソン政権の続投が決定的となりました。

全151議席が争われた下院議会選挙では、開票率76.2%の時点で、保守連合の獲得議席は75議席と労働党の65議席を大きく上回っています(図1)。保守連合の予想議席は過半数(76議席)を上回る77議席に達するとみられており、モリソン政権は下院議会で単独過半数を握る可能性も高まっています。

上院では引き続き小規模政党との協力が必要に

一方、上院議会選挙では、保守連合の議席予想は選挙前の31議席から33議席へ2議席の増加となる見込みですが、過半数の39議席には届かない模様です(図2)。モリソン政権は上院での法案審議において、引き続き小規模政党と協力関係を構築する必要がありそうです。

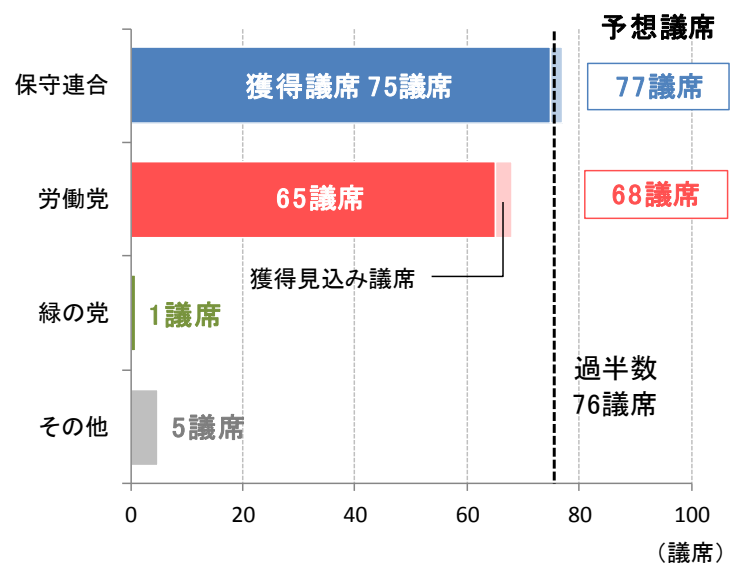
モリソン政権は減税やインフラ投資を進める方針

総選挙での労働党の敗北により、労働党が主張してきた高所得層向け増税策や賃金引上げ介入などの左派寄りの政策が実現するリスクは大きく後退したと考えられます。

モリソン政権続投によって、市場や企業寄りの経済政策が保たれる公算が増したことが好感され、5月20日の豪州金融市場は株高・豪ドル高の反応を示しています。

モリソン政権の経済政策の方針は、4月に公表された政府予算案の計画が中心となりそうです。予算案では早期の財政黒字化の見通しを背景に財政政策の裁量が増す中、モリソン政権は所得税減税や中小企業向け法人税減税、インフラ投資などを進める方針を打ち出しています。

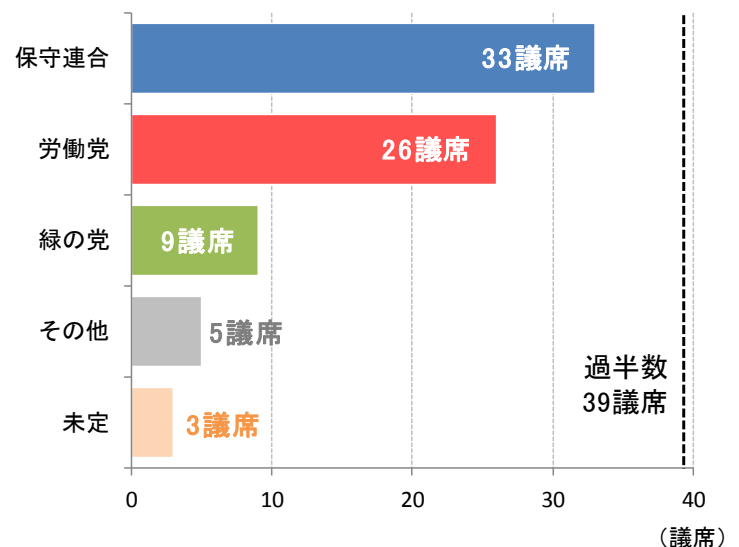
図1：豪州の総選挙の結果（下院議会）



(出所) 豪公共放送ABC

(注) 開票率76.2%時点。全議席数は151議席。

図2：豪州の総選挙の結果（上院議会）



(出所) 豪公共放送ABC

(注) 開票率49%時点。全議席数は76議席（今回は40議席の改選）。

【関連レポート】オーストラリアレポート（2019年4月5日）
「豪政府予算案は財政健全化計画と景気対策を示す」



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、レグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>